

特定非営利活動法人

シルバーアドバイザー・ネット大阪

第 5 期 定 時 総 会
議 案 書

開催日時 平成 23 年 5 月 28 日（土）午後 1 時 30 分～

開催場所 大阪市教育会館 3 階 多目的ルーム 1

定 時 総 会 議 事 次 第

1 開会

2 挨拶 1) 理事長挨拶

2) 来賓挨拶

3 議長選任

4 議長就任挨拶と議事進行

1) 会議成立要件の確認

2) 議事録署名人の選任

3) 議案審議

第 1 号議案 第 5 期事業報告承認の件

第 2 号議案 第 5 期収支決算報告と監査報告承認の件

第 3 号議案 役員選任の件

第 4 号議案 第 6 期事業計画報告の件

第 5 号議案 第 6 期収支予算報告の件

5 議長解任

6 閉会

第1号議案 第5期事業報告

1. 第5期事業総括報告

第5期は、国内で大きな変化がありました。その象徴的なものとして橋下知事が「維新の会」を立ち上げ「大阪都構想」を打ち出し大阪府と大阪市の統合を目指し大きく躍進しました。また3月11日には、未曾有の「東日本大震災」に伴い大津波・原発事故が発生し今後復興に向けかなり長期の復興政策が必要です。

私たちの母校である高齢者大学校では、今年954名の2期生修了者を送り出し、また、NPO設立3年目を迎え、1437名の3期生を迎え入れました。

このような状況下で各事業部は、堅実経営を行い全事業部門ともに黒字経営を実現、法人全体としては、経常収入1,363,651円、経常収支差額は些少ながら14,232円を計上することが出来ました。

第5期の主な事業と今後の課題

1) 渉外ネットワーク活動

大阪アクティブシニア協会のNPO法人化に係わり、大阪出前サポートバンク事業には事業部長・事務局長の参画協力を行いました。

2) 広報活動

広報誌「SAネット大阪ニュース」は、第8号から第10号まで年3回発行し、事業結果の報告に加えてイベント計画の紹介PRに重点をおきました。

3) 理事会

4月の臨時理事会を含めて年13回開催。各部の事業展開の報告と事業推進方策の討議を行いました。

4) 今後の課題

①大阪府からの受託事業先の茨木市の大阪府立介護情報・研修センターが本年3月末で閉鎖になりましたのでこれに代わる新規受託事業先との受託契約を締結することが緊急の課題です。

②自主事業である「おもしろ算数教室事業」と「国際交流事業」は収入増を図るため新しい成長戦略が必要です。

③「魅力あるイベント」の企画実施による会員の獲得増加については、目標を達成出来ず、会員の減少傾向が続いており次期への繰り越し課題となります。

2 事業部活動報告

1) 大阪府立介護情報・研修センター福祉用具説明員サポート事業活動報告

大阪府立介護情報・研修センター（以下「当センター」という）は、大阪府の財政改革で廃止案が公表されまして、存続については大阪府福祉部地域

福祉推進室地域福祉課と話し合ってきました。2月4日大阪府より、今後の当センターのあり方について説明がありました。

大阪府の考え方

- ① 公の施設として、大阪府立介護情報・研修センターは廃止する。
- ② 大阪府内の類似施設を活用し、委託事業を実施する。
- ③ 民間団体等との連携

これまで当センターの運営にご協力いただいた民間団体との協力関係を維持出来るような手法を検討する。

当センターを廃止するには、大阪府議会に廃止をする条例を大阪府知事は、平成23年2月21日より開かれた、大阪府議会定例会に上程されました。

審議されまして当センター廃止案は平成23年3月15日に可決しました。平成23年3月31日で当センターは閉館となりました。閉館に伴い当センターと特定非営利活動法人シルバーアドバイザー・ネット大阪との福祉用具の普及推進等に関する委託契約を解除しました。

2) 伝承おもちゃづくり府民塾事業部活動報告

前々期に引き続き大阪府下の各団体・諸施設等の主催するイベントに参加し、「伝承おもちゃづくり」手法を通じて子ども達や若い親たちと三世代交流を深めることができました。

前期も大阪府福祉基金福祉振興助成金を受けることができ、派遣依頼によるイベント参加や、教室開催とともに、口コミによる活動範囲の拡大に努めた効果が表われてきたと思われまます。

また、前々期と同じく大阪府高齢者大学校の関連イベントの「ろうきん祭り」では、協力団体として参加、「高大の受講生」とともに市民との交流に努めました。

更に10月30日、主催が“官”から“民”へ変わり、大阪アクティブシニア協会が実施の「アクティブシニアフェア2010」にも参加。来場者や出展グループとの交流を図りました。

なお、「おもしろ算数教室」「国際交流」の他事業部との併催も行うべく企画したが、「国際交流事業部」との併催企画が準備不足もあり実現できなかったことが反省点であります。

通期開催 11回 延13日 SA参加者数 延107名 来場者数 1858名
教材読本（手づくりおもちゃ読本他）頒布実績 53冊

3) おもしろ算数教室事業部活動報告

この教室では、楽しみながら、算数マジックの謎解き・算数パズルを解く・百升計算等の計算トレーニングを通して、次のことを目指しています。

- ① 小学生には、考える力、根気よく物事に取り組む力や、基礎計算力を身につ

けます。

② 高齢者を対象としては、脳の活性化を図ります。

以上を目指し、講座（初級・中級・上級）を実施し、更にサポーター養成講座を開講しましたが、受講者の減少には歯止めがかからなく、講座はほとんど成立しませんでした。その中で2名のサポーターが誕生したことを評価しています。

大阪府高齢者大学校の講座においては、サポーターの方と一緒に実施しました。特に「サポーターとしての活動報告」におきまして、サポーターとしての活動のみならず、多様なボランティアとしての活動報告が、受講者から好評を得ました。

また、「パズル体験」の実施の幅が広がってきたように捉えています。

更に、大阪アクティブシニア協会の出前講座も実施しましたが、出前講座の充実が、さらに幅広いものとなるようにしたいものと考えています。

4) 国 際交流事業部活動報告

平成18年9月にNPO法人SAネット大阪が設立され、平成19年4月に現国際交流事業部がNPOの一事業部としてスタートしました。設立当初からSA国際交流専攻コースの修了生の各期から2名以上の代表で運営委員会を構成しました。最盛時は21名で構成されていましたが、現在、在籍者が12名と約半数になり、22年度の8月を除く毎月開催の運営委員会への出席者は、6～7名と淋しい状況となりました。この原因は大きく二つ挙げる事が出来ると思います。一つ目は、運営委員各位が国際交流事業部以外のボランティア活動を行っておられる事。二つ目は、国際交流事業部に対する魅力の欠如です。この問題を如何に解決するかが来期に課せられた大きな課題だと考えます。

22年度も運営委員各位の御協力で第9回から第11回国際交流サロンを開催出来ました。第11回では「伝承おもちゃづくり府民塾事業部」の御協力をいただきました。

第2号議案 第5期収支決算報告と監査報告 別紙

第3号議案 役員選任の件

現在の役員		新役員候補（案）	
理事（顧問）	久保 昌之	理事（顧問）	永田 得祐（新任）
理事（理事長）	永田 得祐	理事（顧問）	石井 定雄（新任）
理事（副理事長）	三田 進一	理事（理事長）	三田 進一（新任）
理事（副理事長）	西川 龍夫	理事（副理事長）	西川 龍夫
理事（副理事長）	武内 信憲	理事（副理事長）	武内 信憲
理事	二葉 登代子	理事（副理事長）	奥谷 英夫（新任）
理事	田中 暁子	理事	二葉 登代子
理事	出口 恭一	理事	田中 暁子
理事	大川 正彦	理事	出口 恭一
理事	島田 道子	理事	大川 正彦
理事	草川 大造	理事	島田 道子
理事	奥谷 英夫	理事	服部 早樹子（新任）
理事	石井 定雄	監事	和佐 義顯
監事	和佐 義顯		

退任 理事（顧問）久保 昌之 理事 草川 大造

第4号議案 第6期事業計画報告

1. 第6期総括事業方針

- 1) 企画力・実践力を強化し「魅力あるイベント」開催を通じて会員の増加と人材の育成を図ります。
具体的には、高大連協・SA連協の会員にもイベントへの参加を呼び掛け役員・会員として入会を積極的に呼び掛けます。
- 2) 茨木市の大阪府立介護情報・研修センターの廃止に伴い、新しい受託事業相手先との契約交渉を行い契約締結を目指します。
- 3) 広報活動の強化
HPと広報誌「SA・ネット大阪ニュース」に「魅力あるイベント」計画の掲載など内容の充実を通じて会員の増加を図ります。
- 4) 大阪府高齢者大学校・大阪アクティブシニア協会との協働を強化し、SAネットの事業拡大につながる相乗効果を目指す。
- 5) 大連老人大学との国際交流ツアーを企画・実施します。
実施時期・スケジュールなど具体的な事項は企画部にて企画立案中です。

2. 事業の実施に関する事項

1) 伝承おもちゃづくり府民塾事業部活動方針

世代間交流のツールとして、「日本の伝承おもちゃづくり」の手法を一緒に学びながら楽しめるイベントの企画を目指します。

高齢者と親子が、あるいは友だちと共同作業として「自分だけのおもちゃ」をつくり、そろって楽しく遊ぶことにより、親子・家族との「絆」や、「友情」を育むことを感じてもらい、「モノづくり」の大切さを体験してもらいます。

また今期は、他事業部、特に「国際交流事業部」との連携を強め、異文化に触れることで「日本の伝承文化」の素晴らしさをより理解してもらうように努めていきたいと思えます。

事業運営資金の確保も重要な課題であり、新しい助成金の申請、教材の商品化等早急に検討していきたいと思っております。

- ・実施予定回数 通期 12回、 延 15日
- ・実施企画 府下各市町村関連団体、自治会、商店街、各種団体等主催のイベント・講座等に講師派遣。自主事業（講座、イベント等の開催）の実施。
- ・予算収入 220千円

2) おもしろ算数教室事業部活動方針

この教室では、算数マジック・算数パズル・百升計算等の三点セットの取り組みをしています。楽しみながら、小学生には、論理的思考力や考える力、根気よく物事に取り組む力を身につけ、また、高齢者には、脳の活性化を図ることを目指して活動しています。

しかし、講座の受講者が、年々減少の一途です。昨年度は、アピールの方法を工夫する努力を、実施してみましたが、効果は見られなかったようです。今年度は、サポーターの方と一緒に、講座そのものを改編してみる方向で、工夫をしてみようと準備を進めています。

一方、出前教室の依頼は、少しではあるが、増えています。これをさらに充実したいと考えています。そのためには、算数パズルの基礎編の更なる充実を目指したい。パズルをもっと多くの方々に、楽しんでもらえるようにしたいものだと考えています。その上で、出前教室の充実を図りたいと考えています。

以上を踏まえて、サポーター会の運営を、より充実したものにしていきたいものです。その工夫の一環として、

- ① サポーター会を、楽しめる会にしたいと思う。
- ② サポーター会で、新しいパズルを作成したり、提案したりしたいと思う。
- ③ サポーター会で、パズルを解くことや、開発中のパズルの点検をする。
- ④ サポーターの方々に、おもしろ算数パズル塾を実施できる機会を探る。
- ⑤ サポーター会で、講座に代わる「おもしろ算数教室」の広がりを模索する。

3) 国際交流事業部活動方針

今年度は、「伝承おもちゃづくり府民塾事業部」と共同で助成金を受ける事が出来るようになりました。これは、昨年までの当事業部の魅力の無さを解決してくれる試金石になると考えます。また今年度、最初の第12回国際交流サロンは6月26日(日)に「英語落語」で開催が決定しております。第13回以降の日程も第13回は9月10日(土)か11日(日)、第14回は11月12日(土)か13日(日)、第15回は1月21日(土)か22日(日)そして第16回は3月末日迄に開催としております。

また、上記の国際交流サロンの開催には、「伝承おもちゃづくり府民塾事業部」の協力を得て魅力あるものとし、活動範囲も拡大したいと考えています。対象としましては、大手商社、エール学園や大阪府立大学と交渉を始めておりましたが、残念ながら、商社の海外に駐在される社員各位におもちゃ作りを覚えていただく計画は、駐在と決まってから「おもちゃ作り」の習得に時間を割けない事が判明し諦めました。エール学園には中国・韓国の留学生に対しておもちゃ作りを授業の一貫に組入れていただく事。大阪府立大学には、今迄の留学生と交流してきた同種の打診をしています。未だ具体的な回答はいただいておりませんが、これらが駄目であっても、どしどしアイデアを出して事業部の魅力作りをしたいと考えています。

4) 企画部活動方針

SAネット大阪の組織の強化に努めるために、次の通り活動を展開します。

- 1) 5月末にNPO法人となる大阪アクティブシニア協会との協働活動を強化し、SAネット大阪の中心的な事業となるよう推進する。その為、組織を挙げて取り組みを図る。
- 2) 3月末で廃止となった大阪府立介護情報・研修センターに代わる施設を運営・管理する受託先を大阪府が公募するのに伴い、予想される応募団体(企業)とのジョイント事業を目途に、情報交換を通じて契約の成就に努める。
- 3) ビッグ・アイ共働機構の中心団体である国際障害者交流センターとの連携による福祉用具説明サポート事業を進める。
- 4) 中国・大連市老人大学との交流のためのツアーを企画し、次年度以降に予想される大阪府高齢者大学校の海外老人大学との交流事業に先鞭をつける。
日程：9月28日(水)～10月1日(土)3泊4日 大連老人大学との交流～近隣都市の観光
- 5) 理事会、事業部の運営のあり方を理事会で早急に検討し、企画と実践の両面を強化し、組織の拡大に全力で当たる。助成金がなくても収入を得られ、赤字にならないNPO法人を目指す。

第 5 号議案 第 6 期収支予算報告
別紙